



## 社会福祉法人大分福祉会 特別養護老人ホーム アルメイダメモリアルホーム



ヒートポンプ給湯



特別養護老人ホームアルメイダメモリアルホーム

### 多様化する介護ニーズに 真心のサービスで応える

特別養護老人ホームアルメイダメモリアルホームは、社会福祉法人大分福祉会が運営し、1982年6月に大分県大分市で事業を開始した。

日本一笑顔あふれる施設を目指してをスローガンに掲げ、多年にわたり社会の進展に寄与されたお年寄りを敬愛、健全でかつ明るい施設の気風をモットーに、入居者および利用者とその家族の視点に立ち、さまざまな意見を取り入れ、さらなる利便性の向上、真心のこもったサービスの提供に取り組んでいる。

近年、多様化する介護ニーズに応えるため、特別養護老人ホームをはじめ、



業務用エコキュート

高齢者だけでなく障害者も対象としたショートステイ(空床型)、訪問介護(居宅介護)事業を展開し、協力医療機関の大分市医師会立アルメイダ病院やアルプス歯科医院などの協力を得ながら、入居者・利用者が安心して充実した生活を送ることができる介護サービスの提供に努めている。

### ランニングコストに優れた 業務用エコキュートを採用

新館側の給湯は当初、旧館側に設置しているガスボイラより供給していたが、使用量の増加にともない新たに給湯機を設置することにした。今回、新館側の浴室リニューアルを機に、CO<sub>2</sub>排出量の低減が図れ、ランニングコストに優れている業務用エコキュートを採用。割安な夜間電力の有効活用で日中の電力を抑制し、電力負荷の平準化を目指した。

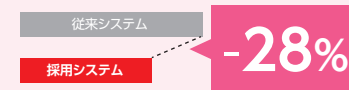
設備導入後は、高騰する燃料費の抑制による経済性の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与でき、また、火災の心配がない安全性も実感できている。なお、使いやすさについても好評を得ている。

今後は、エコキュートの使用状況を把握しながら、貯湯量など機器の最適な運用を図るなど、より省エネルギー・省コストを目指していく。

同法人はこれからも省力化・効率化を推進しつつ、介護を通じて地域社会に貢献し、地域に安心と信頼をもたらすよう努力を重ねていく。

#### 一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガスボイラ 一次エネルギー消費量:89.2GJ
採用システム	業務用エコキュート 一次エネルギー消費量:64GJ



(諸元)同一負荷条件による年間シミュレーション比較  
一次エネルギー換算値  
※電気(夜間) 9.28 MJ/kWh ※都市ガス46.0 MJ/Nm<sup>3</sup>  
※A重油39.1 MJ/ℓ  
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

#### 特別養護老人ホームアルメイダメモリアルホーム

所在地:大分県大分市大字宮崎1509  
設備設計:㈱九電工  
設備施工:㈱九電工  
延床面積:3,149.95㎡  
竣工:2019年更新  
URL:https://almeida-memorial-home.jp/

#### ■設備概要

業務用エコキュート1.95kW×3台  
【三菱電機】貯湯槽1.650㎡

